本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

2441＊JA

取扱説明書

2441

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■ 本機の特長

● 2層液晶

2層液晶を使用しており、様々な表示を行ないます。

● EL バックライト

暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。

●ワールドタイム

世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を表示させることができます。

● e - DATA MEMORY（イーデータメモリー）

1件につき20文字のデータを最大20件メモリー。

●アラーム（5本）・時報報知

任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時（00分）に時報を鳴らすことができます。

●ストップウオッチ

1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 1

デモ表示について 6

ライト点灯について 6

表示の色を切り替えるには 7

操作のしくみと表示の見方 8

ワールドタイムの使い方 10
- 都市のサーチ …… 10
- サマータイム（DST）について …… 11
- サマータイムのON／OFF設定 …… 11
- 都市コード一覧 …… 11

e - DATA MEMORYの使い方 12
- データのサーチ …… 12
- データを入力する …… 13
- データの修正／消去 …… 14
- パスワード機能について …… 15

アラーム・時報の使い方 19
- アラーム時刻のセット …… 19
- アラーム・時報のON／OFF設定 …… 20
- 設定した時刻の1時間前になると …… 21
- 鳴っているアラーム音を止めるには …… 21
- モニターアラーム …… 21

ストップウオッチの使い方 22
- 計測のしかた …… 22

時刻・カレンダーの合わせ方 23
- 「秒」合わせ …… 23
- 「時刻・カレンダー」合わせ …… 23

製品仕様 …… 28
ご使用上の注意 …… 29
お手入れについて …… 31
電池交換について …… 31

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。
（デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません）



● デモ表示の解除

Ⓛ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

● デモ表示の設定

Ⓒ ボタンを約２～３秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

どのモードでも、Ⓛ ボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。
➡暗いところでも、表示を見ることができます。
※Ⓛ ボタンを押し続けても発光は５秒間のみとなります。



＜ご注意＞

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動であり、異常ではありません。

表示の色を切り替えるには

時刻モードで、Ⓑ ボタンを押すごとに表示の色が切り替わります。
➡時刻モードでは、お好きな表示を選ぶことができます（4パターン）。



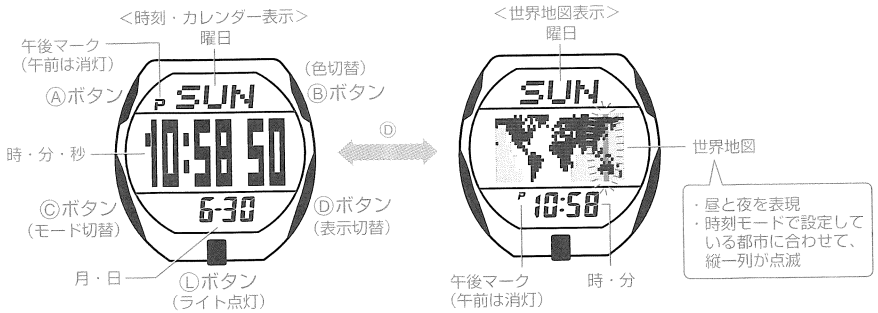
＜ご注意＞

実際の表示は赤／青／黒で表示されますが、本書の表示例は白黒で記載しています。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※各モードで何らかのボタン操作（ライト点灯は除く）を行なった後に Ⓒ ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
※ e - DATA MEMORY モードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※アラームモードのまま１～２時間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



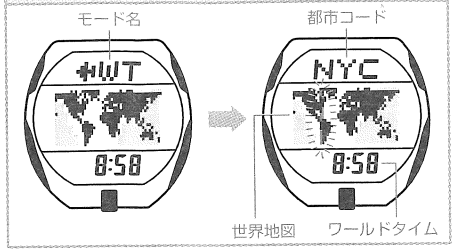
★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水　THU：木　FRI：金　SAT：土

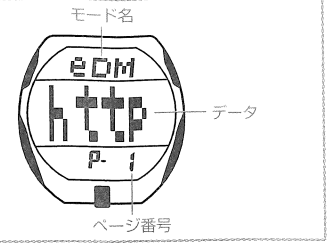
★表示切替について

Ⓓボタンを押すごとに、<時刻・カレンダー表示>と<世界地図表示>とが切り替わります。
※実際の表示は赤／青／黒で表示されますが、本書の表示例は白黒で記載しています。また、セット状態などで表示が点滅しているときは点滅箇所を青色で記載しています。

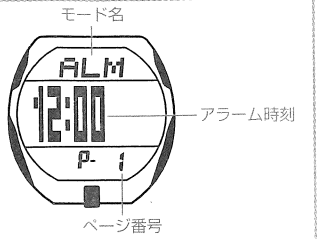
ワールドタイムモード



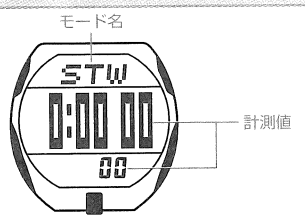
e- DATA MEMORYモード



アラームモード



ストップウオッチモード



ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を知ることができる機能です。

※ワールドタイムモードに切り替えると、モード名を表示後、前回選んだ都市の時刻と世界地図を表示します。

時刻モードで基本時刻および都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。（23ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ またはⒷ ボタンを押します



➡各都市の時刻と世界地図を表示します。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

★表示の見方



※世界地図上で、昼と夜を表現します。また、そのとき表示している都市に合わせて、縦一列が点滅します。

※都市コードのない地域は時差を表示します。

※時刻モードで設定している都市（ホームタイム都市）の場合は、表示上部の色が変わります。

■ サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT" 表示のときはサマータイムの設定はできません。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	−11		JED	+3	ジッダ
HNL	−10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	−9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	−8	ロサンゼルス	KBL	+4.5	カブール
DEN	−7	デンバー	KHI	+5	カラチ
CHI	−6	シカゴ	DEL	+5.5	デリー
NYC	−5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS	−4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
---	−2		HKG	+8	香港
---	−1		TYO	+9	東京
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0	ロンドン	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム			

※この表は2001年6月現在作成のものです。

※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時:UTC）を基準としたものです。

※都市コードのない地域「−−−」では時差を表示します。

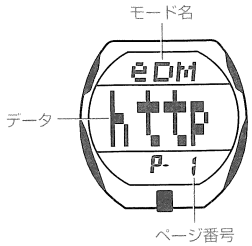
e - DATA MEMORYの使い方

Ⓒボタンを押して、e - DATA MEMORYモードにします。

e - DATA MEMORYモードでは、1件につき20文字のデータを最大20件まで記憶できます。

※e - DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

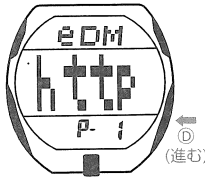
※パスワードを登録していない場合



※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。(15ページ「■パスワード機能について」参照)

■データのサーチ

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓓボタンを押します



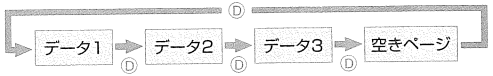
➡Ⓓボタンを押すごとにページが切り替わります。

※押し続けると早送りします。

※データ入力をしたページと空きページを表示します。なお、データを1件も入力していないときは、空きページのみ表示します。

※データを5文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。

例) データを3件入力したとき

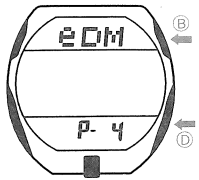


■データを入力する

(1)空きページを選ぶ

e - DATA MEMORYモードのとき、ⒷボタンとⒹボタンを同時に押します

<空きページ表示>

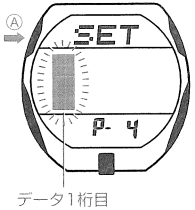


➡ⒷボタンとⒹボタンを同時に押すと、空きページ表示になります。

※20件すべて入力してあるときは“◆FULL”と表示されますので、不要なデータを消しておいてください。(14ページ「■データの修正／消去」参照)

(2)セット状態にする

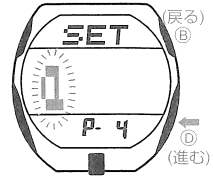
Ⓐボタンを約2秒間押します



➡データの1桁目が点滅します。

(3)点滅箇所のセット

ⒹまたはⒷボタンを押します

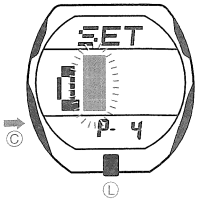


➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

(4)セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡押すごとに点滅箇所が右に1つ移動します。

※Ⓛボタンを押すと点滅箇所が左に1つ戻ります。

※Ⓒ・Ⓛボタンとも、押し続けると点滅箇所が早く移動します。

(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力します

※データは最大 20 文字まで入力できます。
※入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字（a～z）
- 記号（＊－＿@～／？＃！%．：；’，＆＝÷×－＋）
- 英大文字（A～Z）
- 数字（0～9）

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※ 続けて他のデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

■データの修正／消去

(1) Ⓓボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

(2) Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡データの１桁目が点滅します。.

(3)データを修正／消去する

★データ修正➡Ⓒ または Ⓛ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字（数字）を表示させます。

★データ消去➡Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。“CLR” 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) 修正／消去が終わりましたら、 Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

※ データを消去すると、後ろのページが１ページずつ繰り上がります。

■パスワード機能について

パスワード機能とは、４桁の番号を入れないとデータを呼び出せない機能です。
他人に見られたくないデータ保存に便利です。

●パスワードの登録

(1) e - DATA MEMORY モードのとき、Ⓑボタンを押します



➡パスワードの１桁目が点滅します。
※ もう一度 Ⓑ ボタンを押すと、点滅が止まり、データ表示に戻ります。

(2)パスワードを入力する

a. 数字を入れる

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

b. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に１つ移動します。
※ 数字を入力しないと桁を移動させることはできません。

a.～b.の操作を繰り返して、パスワードを入力します

※パスワードは４桁入力しないと登録されません。

(3)４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅が止まり、表示上部の色が変わります。
※ パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再び e - DATA MEMORYモードに戻ると、パスワード入力表示となります。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に時刻モードへ戻ります。

<ご注意>
パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

●パスワードの入力

パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

※パスワードを登録している場合
<パスワード入力表示>



(1)パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、15ページa.～b.の操作を繰り返してパスワードを入力します

※数字を入力しないと桁を移動させることはできません。

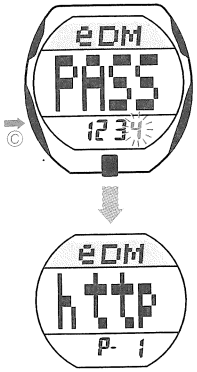


(2)4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードが合っているときは、データを表示します。

➡パスワードが間違っているときは、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



●パスワードの変更

一度登録したパスワードは、変更することができます。(パスワードを変更しても、データに影響はありません)

(1)パスワード入力表示のとき、

Ⓑ ボタンを押します

➡"OLD?" が表示され、パスワードの1桁目が点滅します。

※もう一度Ⓑボタンを押すと、点滅が止まり、パスワード入力表示に戻ります。



(2)現在のパスワードを入力する

登録時と同様に、15ページa.～b.の操作を繰り返して現在のパスワードを入力します

※数字を入力しないと桁を移動させることはできません。



(3)4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードが合っているときは、"NEW?" が表示され、パスワードの1桁目が点滅します。

➡パスワードが間違っているときは、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



(4)新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、15ページa.～b.の操作を繰り返して新しいパスワードを入力します

(5)4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅が止まり、変更完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に時刻モードへ戻ります。



●パスワードの消去

(1)パスワード入力表示のとき、

Ⓑ ボタンを押します



➡"OLD?" が表示され、パスワードの１桁目が点滅します。

※ もう一度Ⓑボタンを押すと、点滅が止まり、パスワード入力表示に戻ります。

(2)現在のパスワードを入力する

登録時と同様に、15ページa.～b.の操作を繰り返して現在のパスワードを入力します

(3)４桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

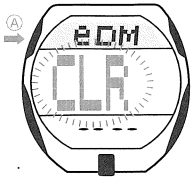


➡パスワードが合っているときは、"NEW?" が表示され、パスワードの１桁目が点滅します。

➡パスワードが間違っているときは、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。

(4)パスワードを消去する

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



➡"CLR" 点滅後、パスワードが消去され、データを表示します。

※ "CLR" 点滅中にⒶボタンを離すと、パスワードは消去されません。

アラーム・時報の使い方

本機には、時・分を設定できるアラームが５本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

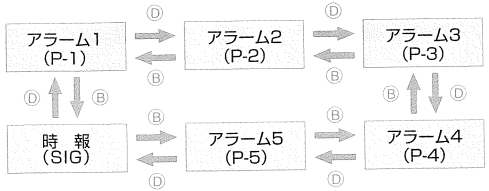
(1)アラームを選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ またはⒷ ボタンを押します



ページ番号

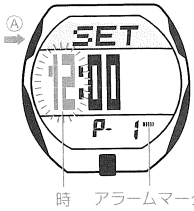
➡押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラームを選びます。



Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します



時　アラームマーク

➡「時」が点滅します。

※ このとき、アラームが自動的にONになり、"))))" が点灯します。

※アラームがONになると表示上部の色が変わります。

(3)セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

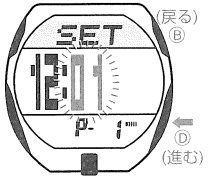


分

➡押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

(4)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



⇒Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

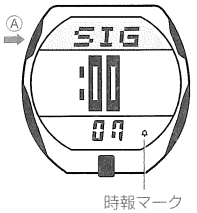
準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIG）表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

⇒Ⓐ ボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

※アラーム・時報が ON になると表示上部の色が変わります。

<時報表示>



時報マーク

<アラーム表示>



アラームマーク

■ 設定した時刻の1時間前になると

設定した時刻の１時間前になると、時刻モードで表示の色が切り替わって知らせてくれます（プレアラーム機能）。

※プレアラーム機能は、設定した時刻まで継続します。

※いずれかのボタンを押すと色の切り替わりが止まり、プレアラーム機能が解除されます。

※Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ・Ⓛ ボタンを押した場合、プレアラーム機能の解除と同時に、各ボタン本来の機能も作動します。

（Ⓑ ＝表示の色が切り替わります。
Ⓒ ＝モードが切り替わります。
Ⓓ ＝表示が切り替わります。
Ⓛ ＝ライトが点灯します。）

■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

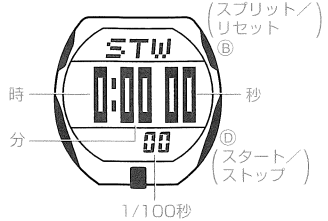
Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（SPL表示）
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が0に戻ります。（リセット）

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2) **時報に合わせてⒹボタンを押します**

➡「00秒」からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



(3)セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1)セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2)ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（11ページ「■都市コード一覧」参照）
※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを"TYO"に設定します

(3)サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡ON または OFF が点滅します。

Ⓓ ボタンを押します

➡ON または OFF が切り替わります。

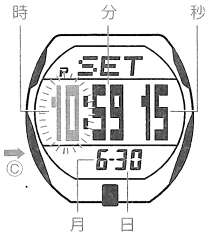
※ OFF ＝サマータイム OFF（通常時間）
ON ＝サマータイム ON（夏時間）

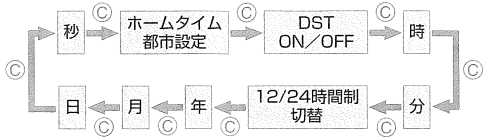
※ サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間早まります。（サマータイムについては 11 ページ参照）

(4)「時刻・カレンダー」合わせ

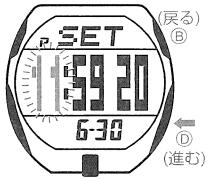
a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓓまたは Ⓑボタンを押します**



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※12/24 時間制切替は、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（12H）と 24 時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。


memo


memo

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒、
午前／午後(P)／24時間制表示、
月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～2039年)
世界地図表示
ワールドタイム機能：世界29タイムゾーン（27都市）の
時刻を表示、世界地図表示
サマータイム設定機能
e-DATA MEMORY機能：1件につき20文字のデータを20件
メモリー、パスワード機能
アラーム機能：時刻アラーム　セット数＝5本
セット単位＝時・分
電子音＝20秒
プレアラーム機能
時報　毎正時2回電子音で報時
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
表示色切替、
EL（エレクトロルミネッセンス）
バックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI
使用電池：CR-2016（電池別途販売）
電池寿命：約3年
（電子音20秒間／日、ライト2秒
間／日使用した場合）
※ ただし、ライト使用条件により、電
池寿命が短くなる場合があります。
• 1日あたりライト10秒間使用
…約28ヶ月
• 1日あたりライト20秒間使用
…約21ヶ月

ご使用上の注意

防水性

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

磁気

● 時計機能には影響ありません。

薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）